



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 日本金属株式会社

コード番号 5491 URL <http://www.nipponkinzoku.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 平石 政伯

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長

(氏名) 伊藤 泰正

TEL 03-5765-8100

四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	8,875	△13.6	△111	—	△180	—	△204	—
25年3月期第1四半期	10,277	3.1	149	△50.1	94	△60.9	79	△53.6

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 0百万円 (△84.7%) 25年3月期第1四半期 3百万円 (△97.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△3.06	—
25年3月期第1四半期	1.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	55,829	15,156	27.1	226.37
25年3月期	55,382	15,156	27.4	226.36

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 15,156百万円 25年3月期 15,156百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,100	△5.8	160	△56.5	△60	—	△150	—	△2.24
通期	40,800	7.1	1,100	865.0	650	—	500	—	7.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	67,000,000 株	25年3月期	67,000,000 株
26年3月期1Q	45,248 株	25年3月期	44,768 株
26年3月期1Q	66,954,755 株	25年3月期1Q	66,956,477 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、為替是正や株価上昇などにより、企業業績や個人消費に回復の兆しがあり、また、政府の成長戦略の具体化に対する期待感など、マインド面でも改善が進んでいます。しかしながら実体経済においては、米国は堅調なものの中国をはじめとした新興国では景気が減速するなど海外の景気動向や国内における企業・業種ごとの回復にはばらつきがあり、まだ本格的には回復していない状況です。

ステンレス業界においても、為替是正により外貨建て輸出契約分の収益改善はあるものの、中国を中心とした国際的な供給過剰により海外市況はむしろ下落し、国内市況の是正も思うように進んでおらず、数量・収益ともに厳しい状況にあります。

当社グループは、このような状況のもと、差別化および自動化・省人化の新規設備導入と既存設備改善による独自製品の開発・拡販およびコストダウンを推進し、自動車用高精度異型鋼や海外自動車大手メーカー向けステンレスの新規受注決定がありました。業績への寄与は第2四半期以降となるため、当第1四半期は厳しい状況で推移いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における連結業績につきましては、売上高は、前年同期と比べ14億2百万円減収の88億7千5百万円となりました。損益面につきましては、営業損益は1億1千1百万円の損失(前年同期は1億4千9百万円の利益)となり、経常損益は1億8千万円の損失(前年同期は9千4百万円の利益)となり、純損益は2億4百万円の損失(前年同期は7千9百万円の利益)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

① みがき帯鋼部門

みがき帯鋼部門では、自動車関連は国内生産の上方修正と海外向け新規製品の拡販により当期計画に比べ販売増となっているものの、前年同期と比べると販売減となっており、またIT機器関連は回復が遅れており、輸出については為替は是正されたものの中国をはじめとする東アジア地区での市況の悪化により販売減となりました。その結果、みがき帯鋼部門の売上高は、前年同期と比べ12億8千2百万円(15.3%)減収の71億2千2百万円となり、営業利益では、前年同期と比べ1億9千7百万円(87.3%)減益の2千8百万円となりました。

② 加工品部門

加工品部門では、自動車部品向け高精度異形鋼や油田探査用光ファイバーなどの販売は好調でしたが、厳しい状況が継続した新興国を主な市場とする異形鋼や耐熱精密細管、また国内向けの建築部材などは、回復の兆しが見られたものの本格回復には至りませんでした。一方、昨年から進めているタイ王国での加工品生産・販売は順調に進んでおります。その結果、加工品部門の売上高は、前年同期と比べ1億1千9百万円(6.4%)減収の17億5千2百万円となり、営業利益では、前年同期と比べ8千9百万円(49.3%)減益の9千1百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ4億4千7百万円増加の558億2千9百万円となりました。流動資産は、4億9千4百万円増加の239億6千2百万円となりました。現金及び預金は、短期及び長期借入金合計で3千3百万円減少したこと等により、1億1千2百万円減少しております。受取手形及び売掛金は、前第4四半期連結会計期間に比べ販売数量が増加したことにより2億4千2百万円増加いたしました。繰延税金資産は2億2千1百万円増加（長期の繰延税金資産は2億5千7百万円減少し、繰延税金資産は合計で3千5百万円減少）しております。固定資産は、4千6百万円減少の318億6千6百万円となりました。これは主に、設備投資額4億円に対し、減価償却実施額が3億1千万円であったこと等により有形固定資産が1億2千6百万円増加し、株価上昇により投資有価証券の時価評価額が1億8百万円増加した一方、長期の繰延税金資産が2億5千7百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ4億4千6百万円増加の406億7千2百万円となりました。流動負債は15億9千9百万円増加の253億8千3百万円となりました。これは主に、短期借入金10億4千6百万円増加し、設備支払手形及び賞与未払費用等が増加したことによりその他の流動負債が3億8千5百万円増加し、上述のとおり販売数量が増加したことにより支払手形及び買掛金が3億4千5百万円増加した一方、賞与引当金が1億7千7百万円減少したことによるものであります。固定負債は11億5千3百万円減少の152億8千9百万円となりました。これは主に、長期借入金10億8千万円減少（短期及び長期借入金は合計で3千3百万円減少）し、退職給付引当金が6千3百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末並みの151億5千6百万円となりました。これは主に、株主資本は当四半期純損失の計上により利益剰余金は2億4百万円減少し、一方、その他の包括利益累計額は、円安の進行による為替換算調整勘定の増加1億3千5百万円と、株価上昇によるその他有価証券評価差額金の増加6千8百万円により2億5百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、当連結会計期間末の自己資本比率は、27.1%（前年度末 27.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

経営成績に関する説明で記載したとおり、第1四半期は環境やマインド面での改善はあるものの実体経済はまだ本格回復とはいえない状況です。

第2四半期以降につきましては、環境はさらに改善に向かうと予測され、当社においても、海外自動車大手向けステンレスおよび高精度異型鋼の本格量産や、帯鋼マレーシア新工場および加工品タイ新工場の稼働による販売増、歩留向上や省人化設備稼働によるコストダウンの効果で収益は改善するものと予想しております。

以上の予想の結果、平成25年5月10日に発表しました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,028	3,915
受取手形及び売掛金	10,023	10,266
商品及び製品	3,995	4,108
仕掛品	3,700	3,646
原材料及び貯蔵品	1,127	1,143
その他	654	946
貸倒引当金	△61	△64
流動資産合計	23,468	23,962
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,112	4,055
機械装置及び運搬具（純額）	5,649	5,693
土地	16,454	16,462
その他（純額）	1,867	1,998
有形固定資産合計	28,083	28,209
無形固定資産		
投資その他の資産	154	128
投資有価証券	2,201	2,310
その他	1,524	1,264
貸倒引当金	△51	△45
投資その他の資産合計	3,675	3,528
固定資産合計	31,913	31,866
資産合計	55,382	55,829
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,448	9,793
短期借入金	11,975	13,022
賞与引当金	256	78
その他	2,103	2,488
流動負債合計	23,783	25,383
固定負債		
長期借入金	11,362	10,281
再評価に係る繰延税金負債	3,533	3,533
退職給付引当金	1,269	1,205
その他	277	268
固定負債合計	16,442	15,289
負債合計	40,226	40,672

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,857	6,857
資本剰余金	986	986
利益剰余金	1,493	1,288
自己株式	△8	△8
株主資本合計	9,328	9,123
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	515	583
繰延ヘッジ損益	△3	△1
土地再評価差額金	5,357	5,357
為替換算調整勘定	△41	94
その他の包括利益累計額合計	5,828	6,033
純資産合計	15,156	15,156
負債純資産合計	55,382	55,829

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	10,277	8,875
売上原価	8,835	7,775
売上総利益	1,441	1,099
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	241	226
役員報酬及び給料手当	575	520
賞与引当金繰入額	23	19
退職給付費用	29	29
減価償却費	57	56
その他	364	357
販売費及び一般管理費合計	1,292	1,210
営業利益又は営業損失(△)	149	△111
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	28	25
受取賃貸料	16	31
為替差益	21	—
スクラップ売却収入	11	17
その他	9	7
営業外収益合計	86	81
営業外費用		
支払利息	64	57
退職給付費用	65	64
その他	11	28
営業外費用合計	141	150
経常利益又は経常損失(△)	94	△180
特別利益		
固定資産売却益	—	2
特別利益合計	—	2
特別損失		
固定資産除却損	0	9
会員権評価損	1	—
特別損失合計	1	9
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	92	△187
法人税、住民税及び事業税	35	11
法人税等調整額	△22	6
法人税等合計	13	17
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	79	△204
四半期純利益又は四半期純損失(△)	79	△204

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	79	△204
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△155	68
繰延ヘッジ損益	1	1
為替換算調整勘定	78	135
その他の包括利益合計	△75	205
四半期包括利益	3	0
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3	0
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。